リプル

とくしま福祉広報
191号
september.2017

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/

これからも地域とともに 100

民生委員制度創設100周年記念大会が開催されました

大正6（1917）年5月12日に、民生委員制度の源である「済世顧問制度」を定めた岡山県済世顧問制度設置規程が公布され、今年は制度創設100周年の節目の年になります。写真は民生委員制度創設100周年記念大会（9月7日）の様子です。民生委員・児童委員の存在やその活動をより多くの方々に知っていただくこととともに、今日的な福祉課題や生活課題の実情を広く社会に明らかにすることを目的に開催されました。

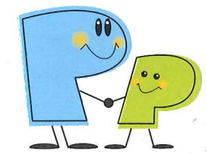
RIPPLE リプルとは、波紋のことです。

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

ひと

ボランティア・NPOの情報紙
40号 september.2017

とくしま県民活動プラザ
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345
e-mail:info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
http://www.tokuvc.jp


マスコットキャラクター プララ

ひと40号 septemberne.2017 CONTENTS

特集 特定非営利活動法人 ハーモニー
『人・豊かな街づくり』

ひと わたしたちの居場所
とくしま「きくみるはなす」研究会
代表 岡田 あかね さん

シリーズ・このひとから
徳島県カウンセリング研究会 55年目迎えて
「人は自分の心色を求め生きる」
徳島県カウンセリング協会 会長 日下 正幸 さん
ボランティアと地域で子育て
上勝町社会福祉協議会 植松 絵里奈 さん

ハートリレー
No.40 北岡さんから安宅さんへ

New face
NPO 法人 阿波の国子ども歌舞伎

自然と人とが調和しながら
心豊かに暮らせる街づくりを目指す

特定非営利活動法人 ハーモニー『人・豊かな街づくり』

草木染め

特定非営利活動法人 ハーモニー『人・豊かな街づくり』

自然と人とが調和しながら暮らしていける環境づくりを目指し、設立から17年目を迎える特定非営利活動法人ハーモニーさん。

イベントや体験学習等を通し、『人・豊かな街づくり』へとつながっていけるようにと思いを込めて活動されています。

受け継いだ“宝”を次の世代へ　原内（はらうち）　日出美（ひでみ）さん

人はあらゆるところで自然の恩恵を受けています。私たちの団体は人と自然が調和しながら心の豊かさから始まる街づくりを目指し、総勢35名で活動しています。そして、海岸清掃活動などの美化整備、施設や自然を活かした親子体験学習、藍染め・草木染めなどの工芸伝承、移住者・定住者の促進、子育て世代への支援の5つの事業を展開しています。

“染め”部会は、熟練組と新人お母さん組がペアになり、藍染めや草木染めの研究をしています。以前、北灘東小学校の「総合的な学習の時間」にお招きいただき、子どもたちと一緒に藍をプランターに植えることから始め、刈り取り、乾燥、温度計測、藍の観察、藍染めを体験しました。初めての体験に楽しそうに取り組んでくれた子どもたちの笑顔が今も心に残っています。

また、カンボジアの留学生たちと異文化交流を行ったこともあります。カンボジアの歴史を学んだり子どもの遊びや地雷の擬似体験をしたりして、その国の実情を知りました。子どもたちが企画した国際運動会では、留学生と子どもたちとの徒競走や地域の人たちとの二人三脚など、大いに競技を楽しみました。カンボジアでは、楽しく体を動かし、景品までもらえる日本の運動会のような慣習がなく、「村で開催すれば、村中の人たちが参加します！」と、とても喜んでくれました。

私たちは、活動を次世代に伝えていくことが一番大切だと考えており、また、このことが今後の課題でもあります。昔は婦人会や老人会など地域に色々な組織がありましたが、今では少なく、若い人たちはどこにも属していなかったり、属したい場所がなかったりします。人を育て、次世代につなぐことは、地域をつないでいくことにもつながり、それが“宝”となっていきます。これからもいろんな人たちの力になりたいと思っています。

草木染め体験に参加していた　上田（うえた）　時松（ときまつ）さん　幸子（さちこ）さん

設立当初から草木染めや藍染めに携わっています。“染め”のおもしろさは、できあがったものが1つとして同じものではないこと。思ってもみなかった柄が出てきたり、染液につける・水洗いの繰り返しにより色の濃淡が鮮やかに出たりしたときは、うれしいものです。次は、もっといいものを、おもしろいものを、と“染め”への探究心が湧いてきます。

鍋島（なべしま）　アヤ子さん

ここ（北灘町）にある草木を使って染め物をしようと活動を始めて20年以上経ちます。これまで、各地区老人会や小学校にお招きいただいて染め物教室を行ってきました。地域の活性化につながればと思い活動を続けています。

木下（きのした）　妙子（たえこ）さん

これまでの“染め”活動で一番印象に残っているのは、鳴門市の小学校の子どもたちに、藍の葉をつかってたたき染めを体験してもらったことです。仕上がった時の「うわぁ！きれいにできた」との声を聞いてとてもうれしかったです。これからは、若いお母さんたちにも地域活動に参加していただき、若い世代のアイデアを取り入れながら活動できればと考えています。

円藤（えんどう）　保子（やすこ）さん

地域の魅力を再発見できる場所

曽良（そら）　摩弥（まや）さん

自然豊かな鳴門市北灘町で、子育て仲間が集まる場所があればと感じていた時、櫛木集会所を使ってはどうかと地域の方から声をかけていただき“子育てサロン”として使わせてもらうことになりました。平成29年6月現在で、メンバーは親子8組ほどです。お弁当持参で1キロ先の海や神社まで散歩したり、季節によっては夕涼み会、稲刈りなど自分たちがやりたいと思うことを企画しています。また、国の過疎化対策の補助金により絵本や本棚を揃えたり、講談社の絵本読み聞かせキャラバンが4トントラックで来てくれたこともあります。活動時間は、変動がありますが、毎週金曜日午前10時半～14時頃です。

主な活動としては、藍染めなどの“染め”があります。

平成28年11月には染め部会とコラボして「北灘アートフェスタ」でファッションショーを行いました。染め部会の先輩と子育て中のお母さんがペアになり、先輩から染めや型抜きなどを教わり、Tシャツなど染めたものを子どもたちが身に着けて歩きました。平成29年度も11月3日に北灘東小学校体育館で実施するため、本番に向けて作品作りに励んでいます。このように私たちの団体は、年配の方も若いお母さんも一緒になって活動しています。

今では、北灘の自然に惹かれ、サロン参加者から北灘への移住希望の声も聞こえてくるようになり、空き家の情報提供など移住者支援の活動の必要性も感じています。私にとってこの団体は、海・山・田畑の豊かな自然と、モダニズム建築のある北灘町の魅力発信のNPOです。自然豊かなこの地域で、子どもたちが健やかに過ごす姿を見ることができ、そしてなにより地域の魅力を再発見しています。

新潟から転居して来て、機会があれば藍染めをやってみたいなぁと思っていた頃、曽良さんに出会い、誘われたのがきっかけです。今では、Tシャツや布製バッグを染めたり、息子の好きなデザインをハンカチに型抜きして染色したりして楽しんでいます。今年は、藍で染めた浴衣を着て北灘アートフェスタのファッションショーに出演できればと思っています。ハーモニー染め部会の熟練の先輩方には、藍染めのいろはを丁寧に教えていただき、本当に勉強になります。また、子育ての先輩としてもアドバイスを頂き、北灘の人たちとのつながりを強く感じています。

相澤（あいざわ）　香織（かおり）さん

香川県から移住して2年になります。今では、子育てがしやすく、自然いっぱいの鳴門の暮らしに心地よさを感じています。

子育てサロンでは、櫛木ノ浜での水遊び、自然農法での野菜づくり等、豊かな自然を肌で感じながら活動しています。このサロンは、育児の相談ができ、さらに幼児が和やかな雰囲気の中で伸び伸びと過ごすことができる私たち親子にとって優しいところです。

沼野（ぬまの）　麻理乃（まりの）さん　若菜（わかな）ちゃん

「子育て支援サークルてくてく」に通いだして 1 年が過ぎました。0歳～5歳の子どもたちとそのママたちが集い、櫛木の自然に触れあいながら楽しく活動しています。子どもたちは、泥遊びや草木を使ったままごと遊び等を通して異年齢の子と関わって遊ぶことができます。ママたちにとっても、幅広い年齢の子を観ることで、我が子の成長の見通しをもつことができます。今年から本格的に染め部会にも参加し、経験豊富な先輩方から学び北灘地域の活性化につなげていきたいです。

前田（まえだ）　恵子（けいこ）さん

（取材・文：菊本 佳孝・向井 亜里紗）

特定非営利活動法人 ハーモニー『人・豊かな街づくり』
理事長　岡部　晃資
〒771-0372
鳴門市北灘町粟田字東傍示217番地の2原内方
TEL：088-682-0832

ひと　わたしたちの居場所

今回は、とくしま「きくみるはなす」研究会代表の岡田あかねさんにお話を伺いました。岡田さんは、生活支援コーディネーターとして、訪問型介護を主とした住民主体の地域事業を展開している、北島町を拠点に活動するＮＰＯ法人ＹＯＵ＆ゆうの理事でもあります。

訪問介護は、人と人との距離感が近い状況下で個人の生活に密に関わる機会が多いため、人間本来の温かさ、奥深さに触れられる仕事で、本当に貴重な時間を絶えず戴いていると笑顔で話してくださいました。

しかし、その一方で、言葉が思うように伝わらず、その摩擦や誤解に葛藤し、離職していく方を何度も目にし、悔しい思いを重ねてきたそうです。そしてそこには「きく」「みる」「はなす」が基盤となるコミュニケーションから起こる、人間関係の摩擦が根を張るように憚っている。しかもそれは福祉業界のみならず、私たちが身を置く地域や社会に共通した課題ではないかと考えたそうです。

そんな思いを起点に、２０１４年に「きくみるはなす」を立ち上げ、人と人との間柄（関係性）を取り持つ架け橋役になるような場所を思い描きながら始動。その活動のひとつでもある「ミニカウンセリング」は、ペアになった二人が１５分間の「言葉を聞き合う」時間を体感し、逐語録を作成。その言葉、間合い、それらひとつひとつを大切に辿り検証していくことで、人間の存在性を根底から捉えなおしていきます。

実際に、このカウンセリングを体感した方々からは、「ここまで自分の内面を大切にしてもらったのは初めてでした」、「どういうわけか、自分がどんどんスッキリしていくんです」などのお言葉をいただいたそうです。

仕事や家庭など、社会のあらゆる場面で直面する人間関係で行き詰ったときに、「言葉を聴き合う場」で、ふっと言葉を落としていく。身も心も解放し、何も気にせず捉われずに居られるような、広々とした自由な居場所をつくりたい。そして、それは主催者側の一方的な意図でつくられるのではなく、参加してくださる皆さまによって動きはじめる、生きた（活きた）空間としての居場所であるということ。

この場を通して、迷ったり悩んだりしていた方々が自分で立ち上がり自分の足で歩いていく、自然に元気になっていく。そういう居場所をただ守りたいのだと、岡田さんは力強く話してくださいました。

今後の展望をお尋ねすると、「やっぱり目の前にある喜怒哀楽をきちんと生きられる“居場所”を守っていくだけですかね。活きがある、生き甲斐のある、腹の底から楽しいと思える場所を…。ただそれだけですね！」と、楽しそうに話してくださいました。「生身の人間と、生身の自分で真摯に向かい合った時だけに見えてくる世界がある」そんな風に、前向きに、果敢に向かっていく岡田さんの熱い思いを感じました。　（取材：山田奈津・日下睦子）

とくしま「きくみるはなす」研究会

代表　岡田（おかだ）　あかねさん

● ＦＢサイト：ワークショップ情報はこちらからどうぞ！
https://www.facebook./com/kikumiruhanasu.tokushima
● 連絡先
ＴＥＬ：０９０－９４５５－６２５９
Ｅ－mail：kikumiruhanasu.tokushima@gmail.com

シリーズ・このひとから

徳島県カウンセリング研究会55年目迎えて
「人は自分の心色を求め生きる」

徳島県カウンセリング協会
会長　日下（くさか）　正幸（まさゆき）

ボランティア活動で相談会と研究会を開いている。とくしま県民活動プラザ、県立総合福祉センターを中心に実践をしてきた。矢三の県立障がい者交流プラザでは、カウンセリングの心を基本にする「いやしの連句」を開いたこともあった。ここ数年は鳴門市の自宅の心庵やこころ塾でも相談や研究を持つことも多くなってきた。また、公民館でも地域カウンセリングを実践してきている。

目標は「日常生活にカウンセリングの技法を生かし心を元気にし、悩みとじょうずに付き合いながらありのままの自分を認める」ことである。解決には人それぞれの道や生き方が深く関わるので、そのプロセスの長短も人それぞれであり、５年間以上もよりそい続けた実践もある。

次に、カウンセリング詩を語る。

あいの花が咲いている　私を見て　私の色
私の個性よ　生き方も考え方もその背景に
ひとりひとりの歴史と未来の色が輝く
足音をこころ道にひびかせて進もう
あなたの道が　心の色に光り輝きつづいてる

日下　正幸
鳴門市板東公民館長、ＮＰＯ法人まちづくり大麻理事長
カウンセリング、実践教育研究、こころ塾　心いきいきインストラクター、作家、詩人、歌人、フリースクール心庵、学習塾心塾、いやしの連句主催

ボランティアと地域で子育て

上勝町社会福祉協議会　植松（うえまつ）　絵里奈（えりな）

私が上勝町社協で働き始めて２年５ヶ月が過ぎようとしています。いろいろな方々に出会い、ご協力いただいていることを日々実感しています。私が携わらせていただいているのは、中学生を対象に行っているボランティアスクールや、十代対象のＴＩＣ、青少年赤十字などです。実は、私も上勝中学校の卒業生でボランティアスクールにも参加していました。先日は、ボランティアコーディネーターとして中学校へ行き、「ボランティア活動とは『気づき・考え・行動する』こと」をキーワードに、例を交えて図書ボランティア委員の子供達に伝えてきました。私が伝えたことを図書ボランティア委員の子供達の言葉で全生徒に伝えてくれ、ボランティアの輪がどんどん広がってほしいなと思い毎年行かせていただいています。

昨年は、第１１回福祉大会・ボランティアフェスティバルも開催し、上勝町内の園児・児童・生徒や地域の方々総勢２４７名の方に御協力いただきました。地域で育つ子供達の成長を見ることができ、参加された皆さんからは「とてもよかった」とご好評いただきました。

私は、人口が少ない上勝町だからできる、みんな顔見知りでつながって、地域全体で見守り、支え合えるようにこれからも活動していきたいと思います。

ボランティアスクール打ち合わせ

福祉大会・ボランティアフェスティバル

イベントガイド

「うずっこタウン」・「へそっこタウン」開催

子どもたちがいきいきと活動するまち「うずっこタウン」・「へそっこタウン」を開催します。

子どもたちが社会貢献活動団体の方たちから活動を教わり、一緒にいきいきと活動することにより、活動の内容や重要性を学びます。ぜひ、遊びに来てください!!

●うずっこタウン

日　時：平成29年10月1日（日）９：40～14：30
場　所：うずしお会館(鳴門市撫養町南浜字東浜165番地10)

●へそっこタウン

日　時：平成29年11月19日（日）10：00～15：00
場　所：三好市池田総合体育館(三好市池田町マチ2551-1)
内　容：NPO・ボランティア活動体験
（ステージ発表・製品販売等）
主　催：認定NPO法人とくしま県民活動プラザ・社会福祉法人徳島県社会福祉協議会・徳島市市民活力開発センター

第13回 とくしまNPO・ボランティアフェア

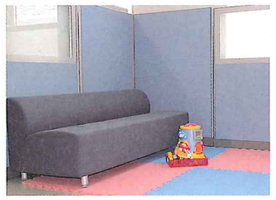
今年は、トモニSunSunマーケットと同時開催!!

日　時：平成29年11月5日（日）10：00～15：00
場　所：新町川水際公園（徳島市南内町２丁目）
主　催：とくしまNPO・ボランティアフェア実行委員会
団体の活動紹介、活動により作成された物品の販売など、活動PRのチャンスです。みんなで一緒に盛り上げましょう!
※詳しくはとくしま県民活動プラザまでお問い合せください。

貴団体の活動成果物を情報掲示コーナーに!

NPO・ボランティア団体等の社会貢献活動に取り組む方々の活動・交流の拠点である、とくしま県民活動プラザでは、プラザ登録団体の活動の成果を記した刊行物や情報誌、案内チラシ等を広報できる場である情報コーナーを設けています。随時募集しておりますので、お気軽にプラザ窓口までお申し出ください。

キッズスペースを設置!



とくしま県民活動プラザでの会合等で小さいお子様をお連れの方に朗報。小さいお子様が休憩できるように、わずかですが、キッズスペースを設けました。ご利用ください。

ハートリレー

No.40 北岡さんから安宅さんへ

城　自治会　安宅（あたけ）　実（みのる）さん

休耕地利用で地域活性化

私たち美馬体験交流の会が指定管理している美馬市水辺の楽校中鳥川公園にヒマワリの植栽を思いついたとき、真っ先に頭に浮かんだのは真っ黒に日焼けした安宅実さんの笑顔でした。

安宅さんは、農業機械販売会社を退職されてから近隣の農地を借りて農業を始める中で、雑草が生い茂る休耕地を何とか利用して地域の活性化に繋げたいとの強い思いを持たれたそうです。そこで、城自治会長だった2013年から自治会員と地元の重清西小学校に呼びかけ、無償で借り受けた休耕地に数万本のヒマワリの種まきや栽培管理、迷路作り等を行っています。また、2016年には、児童によるヒマワリ背丈のギネス記録への挑戦を中心となってサポートしました。残念ながら記録には及びませんでしたが、市内外から多くの人々が訪れるなど大いに関心を高め、児童にとっても自慢できる想い出づくりとなりました。

現在、安宅さんはヒマワリとともに新たにキヌアという植物による休耕地利用に取り組んでいます。キヌアを休耕地で栽培・収穫して農業所得を上げ、地域を元気にしようとするものです。

研究熱心で抜群の行動力を持つ安宅さんが、今後ますます活躍され、地域の活性化が図られることを期待しています。

文・北岡（きたおか）　武義（たけよし）

一生、いい歯と付き合うために。
「成人歯科健診を推進しています」
一般社団法人
徳島県歯科医師会
会長　森　秀司
ホームページ
徳島市北田宮１−８−65　電話　088−631−3977

くすりのご相談は
かかりつけ薬剤師・薬局へ!

一般社団法人
徳島県薬剤師会
会長　水口　和生
TEL　088-655-1100
FAX　088-655-6991

New face

NPO法人 阿波の国子ども歌舞伎

設立について

私たちの団体の前身であるNPO法人とくしま傾く会は、歌舞伎をこよなく愛し、その素晴らしい歌舞伎をより多くの人たちに知ってもらおうと様々な事業を行ってきました。「阿波の国子ども歌舞伎」もその中のひとつです。同会は解散しましたが、過去2回子ども歌舞伎公演を経験した子どもたちや保護者、地域の方から「子ども歌舞伎を続けてほしい」との声をいただきました。子どもたちが歌舞伎に親しみ、生で演じる体験をすることによって、豊かな感性を育み可能性を大きく広げることを目的に、平成28年8月元メンバーたちで新たにNPO法人阿波の国子ども歌舞伎を設立しました。

現在の主な活動

1　歌舞伎公演の開催（今年の最大の活動）
徳島県下から子どもたちを公募し、稽古を重ね、平成29年12月23日（土）、あわぎんホールで公演を行います。指導してくださるのは歌舞伎の演出・脚本家である水口一夫氏です。公演に向かって現在子どもたちは頑張っています。
子どもたちの公演を通して広く地域の人々に働きかけ、徳島県の文化振興に努めます。

2　ワークショップの開催及び歌舞伎に関する研修
過去2回ワークショップを行いました。1回目は歌舞伎楽器の体験を開催しました。三味線・太鼓・柝（効果音を出す小道具）の体験です。2回目は歌舞伎の基本となる日本舞踊の体験です。

これからのビジョン

子どもたちが歌舞伎を演じるというこの事業は、徳島県下唯一の取り組みです。子どもたちは、公演を通して自信がつき、みんなで力を合わせひとつのものを作り上げる成就感を感じています。こうした取り組みが、青少年の健全育成に繋がればと考えています。今後は、これまでの成果を受け継いで、隔年の公演を目指したいと思っています。と同時に、新たなものをつくり、定着させたいと思案中です。

また、現在会員は比較的高齢者が多いのですが、今後、学生さんたちがボランティアとして係わってくださるよう呼びかけたいと考えています。

NPO法人　阿波の国子ども歌舞伎

設立年月日：平成28年8月24日
TEL：088−675−0071
Mail：setokt@almondo.ocn.ne.jp
FB：https//www.facebook.com/awanokunikodomokabuki

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は（認定特非）とくしま県民活動プラザと（社福）徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

●プラザ開館時間
開館時間：10:00～18:00
【研修室利用時間】
火曜日～土曜日：10:00～21:00
日・祝日：10:00～18:00
休館日/月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始

●公共交通機関をご利用の場合●

ＪＲ徳島駅前、徳島市営バスターミナル６番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車　終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
・「沖洲・南海フェリー前（マリンピア経由）」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

編集後記

5月からとくしま県民活動プラザに仲間入りさせていただきました。

まだまだ不慣れで至らないところもあると思いますが、日々頑張っていきたいと思います。

また現在、来たる各種イベントに向け、肉体改造計画を実施しております。

体力強化とともにお腹についた贅肉たちとおさらばし、完璧なボディを手に入れる予定です。

あくまでも予定です。（秋月）

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!

一般社団法人
徳島県医師会
会長　齋藤　義郎
徳島市幸町３丁目61番地
TEL　088-622-0264

吉野川交流推進会議
〒770-8570　徳島市万代町１丁目１番地
県民環境政策課内
TEL　088−621−2743
FAX　088−621−2758
E-mail　office@yoshinogawa.org
http://www.yoshinogawa.org/

地域生活支援と私

社会福祉法人　大麻福祉の町
児童発達支援センター　めだか
障害児相談支援事務所　めだか
相談支援専門員　青山（あおやま）　八重子（やえこ）

私が勤務する児童発達支援センターめだかでは、児童発達支援と保育所等訪問支援を実施しています。児童発達支援は、ことばや運動が気になるなど支援を必要としている就学までの子どもを対象としています。クラス活動やグループ活動（運動グループ、認知グループ、音楽グループ）、個別指導、隣接する保育所との交流保育、園全体での行事等を通して、基本的生活習慣の確立、心身諸機能・知的能力の発達促進や情緒の安定、集団への適応と積極的参加を図っていくことを方針に一人ひとりに応じた支援を実施しています。

保育所等訪問支援は、卒園児や並行通園児が利用している保育所や幼稚園を訪問し、集団生活に適応できるための支援を実施しています。また、徳島県の委託事業である障害児等療育支援事業では、外来による療育指導（集団、個別）、訪問による療育指導、施設等職員に対する療育技術指導を実施しています。

当センターを利用する子ども達が、乳幼児期であることや初めての集団生活であることから、子どもへの支援だけでなく保護者と一緒に子どもの成長について考えていく必要があります。どのようにしたらできるのか、どのような手助けが必要なのか等、発達段階や手立てを具体的に伝えて共通理解を図ります。共通理解が図られ、今何をするべきなのかが明確になることで、家庭との連携がスムーズになりスモールステップで取り組んでいくことができるのではないかと思っています。

子どものライフステージは年齢とともに変わっていくため、関係機関と連携して切れ目のない支援を実施していく必要があります。当センターでは、気づきの段階から就学までの子どもと保護者に対して、必要としている情報提供をしながら支援をしています。保護者の思いや意向を大切にし、幼児期から成人期へと将来の地域生活の中で、子どもが持てる力を発揮でき生き生きと過ごしている姿をイメージして、支援していかなければならないと思っています。

子どもの療育に携わることで、悩んだり考えさせられたりすることもありますが、子どもが成長していく姿や子どもの成長を保護者と共有できることがやりがいになっています。今後も日々の振り返りや研修等で専門的な知識やスキルを高めて一人ひとりに合わせた支援を実施し、保護者が楽しく子育てをしていけるように関わっていきたいと思います。

平成29年度　福祉のお仕事相談会

福祉職場で働きたい方、福祉の仕事に興味のある方のための相談会です。求人に関する相談にものります。

お近くのハローワークで開催しています

徳島県福祉人材センターアイネットの職員が、県内4カ所の公共職業安定所（ハローワーク）に出張して、仕事の内容や福祉系資格の取得方法などについてのアドバイスを行うほか、みなさまからの御質問・御相談にお答えします。

会場&開催日	ハローワーク徳島 第1水曜日	ハローワーク吉野川 第2水曜日	ハローワーク阿南 第3火曜日	ハローワーク鳴門 第4水曜日
	平成29年 10月 4日	平成29年 10月11日	平成29年 10月17日	平成29年 10月25日
	11月 1日	11月 8日	11月14日	11月22日
	12月 6日	12月13日	12月19日	12月27日
	平成30年 2月 7日	平成30年 1月10日	平成30年 1月16日	平成30年 1月24日
	3月 7日	2月14日	2月20日	2月28日
		3月13日	3月20日	3月28日

開催時間 /13：00～15：00　※予約された方を優先させていただきます。
※1. ハローワーク徳島の1月3日は年始のためお休みです。ハローワーク吉野川の3月13日は火曜日の開催となります。
※2. ハローワーク内の相談場所は当日の掲示等で御確認ください。

社会福祉法人　徳島県社会福祉協議会
徳島県福祉人材センター　アイネット
TEL.088-625-2040　FAX.088-656-1173
〒770-0943　徳島市中昭和町1-2　県立総合福祉センター 3F　受付時間：月曜～金曜 8:30～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日は休み）

ありがとうございます

預　託

●徳島県調理師共栄会様より、障がい者支援施設小星園へ施設訪問料理提供ボランティア（日本料理）の御提供●太田ボタン店様より、社会福祉施設等へ手芸用生地とボタンの御寄贈●株式会社 JR 四国ホテルズ様より、高齢者福祉施設へ屋上ビアガーデンの御招待●株式会社マルナカ徳島店様より、社会福祉協議会等へ日用品の御寄贈●ドリームサーカス株式会社様より、社会福祉施設へワールドドリームサーカス徳島公演の御招待●認定特定非営利活動法人とくしま県民活動プラザ様より、児童養護施設へ小・中・高校生の NPO・ボランティア活動体験事業 子どもがいきいきと活動するまち「なみっこタウン」の御招待●徳島県阿波牛販売推進協議会様、徳島県食肉荷受株式会社様より、児童養護施設へ阿波牛の御寄贈

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!　平成29年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

http://www.fukushihoken.co.jp
ふくしの保険　検索

保険金額

保険金の種類＼プラン		Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金	1,320万円（限度額）	1,800万円（限度額）
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金 入院中の手術	65,000円	100,000円
	手術保険金 外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額（保険金額）に同じ	
	葬祭費用保険金（特定感染症）	300万円（限度額）	
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）	

年間保険料（1名あたり）

タイプ＼プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ（※）（基本タイプ+地震・噴火・津波）	500円	710円

（※）天災タイプでは、天災（地震、噴火または津波）に起因する被保険者自身のケガを補償しますが（天災危険担保特約条項）、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）
送迎サービス補償（傷害保険）
福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会
〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3を除きます。）

取扱代理店　株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667　FAX：03（3581）4763
営業時間：平日の 9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJNK16-16921　2017.2.3 作成〉

社協の実践 ともに生きる豊かな福祉社会を目指して

住み続けたい美馬市を創る

笑顔でつながるまちづくり

vol.15 美馬市社会福祉協議会

美馬市社会福祉協議会と第2次地域福祉活動計画策定委員会は、「10年後、自分たちが住み続けたいと思える美馬市を自分たちで創ってみませんか」をスローガンに、住民主体による地域コミュニティの再構築に向け、美馬・脇町・穴吹・木屋平の各地区において孤立防止や防災訓練の実施など、様々な地域の課題解決に向けたまちづくり活動を計画し、各地区の実行委員会が実践しています。

実行委員を中心とした取り組みを進める中、5年前の計画策定当初には見られなかった社会情勢の急激な変化や関連する福祉制度の改正等、私たちの生活も少なからず変わってきました。そこで新たな計画を策定する必要性が高まったこともあり、平成30年度からの第3次地域福祉活動計画の策定に向け、策定委員会を開催しています。2か月毎の開催により、各地区での現在、また今後のニーズや課題を策定委員と共に話し合っています。

美馬市内の社会福祉法人や介護サービス等の利用者の声や、地域に出向き、地域住民の声を聴きながら、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる「我が事丸ごと」の地域づくりを目指し、地域がひとつになれるような計画づくりを進めています。第3次の計画づくりのテーマは「ちょボラで地域づくり」としています。お互いに安心して暮らすことのできるよう、ちょっとしたお手伝いのボランティア。支え合いと見守りによるつながりの構築に向け、地域の方々と共に取り組んでいます。

策定委員会の様子

vol.16 神山町社会福祉協議会

夏休み最初の土曜日、神山町社会福祉協議会主催のこどもお楽しみクラブ『流しそうめんｄｅ夏祭り』が開催されました。こどもたちの「来年も開催してほしい」との声に応えて今年で3年目になり神山の夏の風物詩に定着しつつあります。竹の切り出しから始まり、樋やお椀作り等準備を担ってくれるのは民生委員児童委員の方々です。〝こどもたちに遊びの場を提供したい〟、〝こどもたちと地域の人とのつながりを増やしたい〟という社協の想いに、民生委員児童委員さんが賛同して下さり、流しそうめん以外にもお餅つきやお菓子作り等、人手の必要な行事には積極的にお手伝いいただき、こどもお楽しみクラブを支えてくれています。おかげで、楽しみに来てくれる子供たちの笑顔の数も増えてきました。

小中学校での車椅子体験や、防災教育の一環としての炊き出し訓練の実施、また相談業務を通じて教育委員会や役場とのネットワークも構築されつつあります。

乳幼児等紙おむつ助成事業は、申請者に社協窓口まで直接足を運んでいただきお渡しすることで、これまで関わりが少なかった子育て世代の方々とも、顔の見える関係ができ始め社協の存在をアピールするひとつのきっかけになっています。

また、これまでも食事サービスを月2回実施しておりましたが、昨年度からボランティア団体と協力し、おいしく体にやさしい手作りお弁当の配達を始めました。利用者の方々に喜んでいただけるよう、季節の食材を利用した献立を立て、盛り付け方にも趣向を凝らしています。地域の方々のご協力をいただきながら、一歩ずつ着実に地域の方々が笑顔でつながる取り組みを進めています。

車椅子体験学習

流しそうめんｄｅ夏祭り

子供平和記念塔（徳島中央公園）

「すべてのお友達を幸福にしましょう」という精神のもと、県内17万人の子ども民生委員が国内や海外から小石を集め、1948年に完成しました。

子ども民生委員活動推進モデル事業

徳島県発祥の「子ども民生委員活動」は、子どもたちが主体となって地域生活課題を発見し、その課題解決に取り組む中で、子どもたちに「平和と福祉の心」を根付かせることを目的とした活動です。民生委員制度創設100周年を機に、子どもたちが地域から学び、地域から育ち、地域づくりにつながるよう、大人の民生委員・児童委員と共に幅広いボランティア活動を展開する「子ども民生委員活動推進モデル事業」が昨年度より県内5地区にて実施されました。

阿波市阿波地区民生委員児童委員協議会 [地域の世代間交流事業]

内容 「振り込め詐欺防止啓発活動」として町内大型店舗の協力のもと、年金支給日に合わせて児童お手製のメッセージカードとチラシを配り、被害防止を呼びかける。

目標 高齢者等が抱える身近な課題（問題）が深刻化しないよう社会に貢献する体験をきっかけに、次世代の福祉活動担い手養成に繋げる。

美馬市木屋平地区民生委員児童委員協議会 [見守り声かけ運動]

内容 「運動会」「輝きフェスティバル」への高齢者・障がい者の招待、一人暮らし高齢者・障がい者への「訪問活動」「愛の一声運動」。

目標 次世代を担う子どもたちが家庭や地域で心豊かに生活できる環境づくりを目指す。

板野町民生児童委員協議会 [見守り声かけ運動]

内容 民生委員の「見守り声かけ運動」（独居高齢者宅を訪問し、安否確認を行う事業）へ同行する。

目標 民生委員の「見守り声かけ運動」を通して、ボランティア意識が芽生え、TIC運動やその他のボランティア活動に参加してもらう。

神山町民生委員児童委員協議会 [子ども民生委員活動]

内容 焼山寺でのお接待、うめっこ作業所・すだち園・寿泉園の訪問と交流、勤労生産活動（米作りと餅作り）、花いっぱい美化活動、アドプト活動などを民生委員とともに行う。

目標 活動を通して、地域の人との関わりを大切にし、自分たちの住んでいる町への関心を高め、愛情と誇りを持つ子どもを育てる。

海陽町民生児童委員協議会 [TIC 活動（海陽町子ども民生委員活動）]

内容 環境美化活動、「びっくり箱」活動のサポート、災害に関する活動。

目標 単発な活動で終わるのではなく、継続した取り組みを行っていけるよう活動の啓発を行い、参加者や希望者を増やしていく。